

夕暮れの 危険を教える ハイビーム

秋は、日没時間がだんだん早くなり交通事故が多発する傾向があります。原因としては、

- ・ 暗い時間帯が長いので危険に気付きにくい。
- ・ 暗い時に、人や交通量が増える下校、買い物等の時間と重なる。
- ・ 蒸発現象が起きやすい。

等があります。

※ 蒸発現象とは

走行車と対向車のヘッドライトが交錯することで起こる現象です。この交錯した部分にいる歩行者等がドライバーから見えなくなり、まるで蒸発したみたいに突然見えなくなることから名づけられました。

対策として

- ・ 歩行者は、明るい服装と反射材を活用する。
一番明るく見える服は白色のため、なるべく白を着るようにして、反射材を多く身につけるようにする。
- ・ 自動車は夕暮れ時のライトを早めに点灯し、ハイビームを有効活用する。
ただし、対向車が近くにいる状態でハイビームを使うと相手の目をくらませてしまうので注意が必要。



※ 明かりと反射材の比較

ハイビームと反射材ありの場合は、照射距離約100m、遠くの歩行者や自転車を早く発見できます。
ロービームと反射材なしの場合は、照射距離約40mしかないため歩行者の発見が遅くなり事故に繋がりがやすくなります。

秋の全国交通安全運動実施中！

事件・事故 緊急事案は110番 警察の相談ダイヤル#9110